

研究課題名：	マンモグラフィ読影におけるディープラーニングを用いた コンピューター自動診断システム（DLADS）の性能評価試験
研究機関名 所属（診療科等）：	研究実施機関 さいたま赤十字病院 乳腺外科 部長 齊藤 毅 総合研究代表者 国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科 向井 博文
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 乳腺外科 部長 齊藤 毅
研究期間：	2019年 11月 1日 ～ 2022年 3月 31日
研究の目的と意義：	研究目的：マンモグラフィの乳癌病変を、人工知能による自動読影判定がヒトと同等もしくは、それ以上の性能を示すかどうか評価する。 意義：今後マンモグラフィ検診率の向上を目指していく中で、撮影した大量のマンモグラフィを読影する医師の確保、人的リソース不足という問題が起きると予想される。二重読影の一方を、人と同等の性能を持ったコンピューター支援診断（CAD）に任せる事ができるようになれば、これらの問題解消につながる。また、ディープラーニングという新しい機械学習方法の特徴は、読み込ませたデータから自己学習する点にあり、使用するたびに精度が上昇することが期待される。画像認識の分野では、現時点でディープラーニングは人を超える性能を実現しており、マンモグラフィ読影に関しても将来的にはヒトを上回る精度を発揮する可能性がある。
研究内容：	それぞれのマンモグラフィの病変に対して、良悪性の判定を行い、そのデータは Dropbox を利用しクラウドを介し、データセンターへ送付する。
個人情報の取り扱い	研究対象者には研究用番号を付し匿名化を行う。研究用番号と個人識別情報（氏名、カルテ番号）を結ぶ対応表は、各施設の研究責任者が管理し、匿名化した状態のデータのみ収集する。対応表は外部に提供する事はない。また、研究結果の報告、発表に関しては個人を特定される形では公表しない。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	【研究担当者】 所属：さいたま赤十字病院 乳腺外科部長 氏名：齊藤 毅 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111